

令和5年5月18日開催

【育む部会】

令和4年度住之江区運営方針振り返り(案)について

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり



1-1 子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

将来像

すべての子どもが誰一人取りこぼされることなく
必要な支援を受けられる状態

課題

こどもサポートネットの充実、子育て世帯への切れ目のない見守り環境の整備

P4

▲ この将来像に向けて3つの取組を進めています

【具体的取組1-1-1】 支援が必要な児童、生徒への取組

取組

児童や保護者のニーズに合わせた必要なサポートを関係機関と連携し実施
 <課題>当事者の同意を得られないケースについて、民間資源等つなぎ先の充実と多様なサービスが必要である
 <改善策>児童、保護者ニーズを把握し関係機関との連携を図る

P5

【具体的取組1-1-2】 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

取組

子育て支援室・地域保健活動担当を中心に妊娠期から就学まで切れ目のない支援、大阪市版ネウボラやこどもサポートネット等状況に応じた支援の提案
 <課題>誰もが気軽に子育ての相談ができるよう取組を進める必要がある
 <改善策>子育てのための工夫のポイントの周知や、相談の機会の広報を効果的に行う

P6

【具体的取組1-1-3】 相談機能、情報発信の強化と交流の場の充実

取組

いろいろな媒体を活用した子育て情報の発信
 <課題>子育て層に行き届くよう、より効果的な情報発信の検討が必要である
 <改善策>HPやSNSを通じた継続的な情報発信とすみのえ情報局の活用を行う

P7



1-2 子どもたちの「生き抜く力」の育成

将来像

子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい
未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態

課題

学習意欲の向上に向け、学校や関係機関等との更なる連携

P9

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

【具体的取組1-2-1】 児童、生徒の学力向上に向けた取組

取組

少人数体制での理解度等に合わせた学習支援、放課後の課外授業の実施
 <課題>基礎学力アップ事業について、実施場所を増やしてほしいという意見がある
 <改善策>実施場所の拡充

P10



【具体的取組1-2-2】 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

取組

未来に向かって挑戦する力や解決していく力を育む授業プログラム等の実施
 <課題>参加者数の増加に向け、魅力あるプログラムが必要である
 <改善策>より効果的な方法となるよう検討

P11

令和4年度 住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

- 子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
- 住之江区の名前の由来のとおり、すみよい区、すなわち“e-SUMINOe”を「めざす将来像」とする。

区の使命(どのような役割を担うのか)

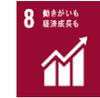
- 地域と共に進めるまちづくり
 - ・区民意見の反映
 - ・地域活動協議会、NPO、企業等の交流促進
 - ・若い世代との協働
- ICTを活用した情報発信の充実
 - ・分かりやすい広報
 - ・多様な手法を活用した情報発信

令和4年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- より安心して子育てができ、未来を担う子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができる環境づくり
- すべての人々が住之江区に愛着をもち、自分らしく暮らせるまちづくり
- 自助、近助、共助、公助による備えのできた防災力の高い、安心して暮らせるまちづくり

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10~20年間で念頭に設定〉

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

課 題

【子どもが笑顔で育つ環境の実現に向けて】

- 本人や家庭への支援が必要な児童、生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談、サポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- 子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく、効果的に伝わるよう関係機関との連携やすみのえ情報局の活用など情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

【子どもたちの「生き抜く力」を育成に向けて】

- 放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童、生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。
- 子どもたちが自分で未来を切り開いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

区役所、学校等各関係機関と地域や民間の区内のこども支援に取り組む様々な主体の連携協働のもとで、さまざまな子育て支援や相談に関する活動が展開されることで、未来の担い手であるすべての子どもが、誰一人取りこぼされることなく、支援が必要な場合に必要な支援を受けられる状態。

計画

戦略(中期的な取組の方向性)

- 妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭、子どもへの支援などを行う。
- また、子育ての悩みを皆で相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実に簡単に入手できる環境の整備を進める。

指標

- 令和7年度末までに、区民アンケートで子育てを現在している人(妊娠中を含む)のうち、「住之江区内で子育てについて相談ができる場があることを知っている」と回答する割合 60%以上
- 年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

指標の達成状況

- 区民アンケート等で子育てを現在している人のうち「子育て支援室を知っている」もしくは「相談したことがある」と回答した割合 79.0% (前年度 80.3%)
- 重大な虐待事案 0件 (前年度 0件)

取組の有効性：有効

自己評価

課題

- 課題を抱える世帯や、地域が相談しやすい環境整備に努める必要がある。
- 課題把握に向けても、「こどもが輝くまちづくり」に向け、区民への啓発や、こども・子育て支援に熱意のある団体等との連携を進めていく必要がある。

改善策

- 気軽に子育て相談したり、子育てに関する情報が得られるよう、区ホームページや広報紙での情報を継続的に発信を行う。
- 学校等関係機関と連携し、課題認識や情報共有を図るとともに、支援の充実に向けた官民連携を深めていく。

経営課題1 子どもたちが輝くまちづくり

【具体的取組1-1-3】

相談機能、情報発信の強化と交流の場の充実

計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・子育てプラザをはじめ区内の子育てに関わる各種機関と連携し、子育てマップ(年1回)や子育て情報紙「わいわい」(年12回)を発行するとともに、子育て層がアクセスしやすいよう、HPやSNS、デジタルマップなどICTを用いて、子育てに関する有益かつタイムリーな情報発信を推進する。 ●区役所子育て支援室において、保育士・保健師・家庭児童相談員による子育て相談を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て世帯保護者アンケートで「区が発信する子どもや子育てに関する情報を入手したことがある」と回答する割合 90%以上 ②区民アンケートで「子育てについて区役所で相談できることを知っている」と回答する割合 40%以上

自己評価	取組実績等	達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て情報紙「わいわい」(月1回)を発行するとともに子育てサロンの情報など区ホームページやSNSを通じて情報を発信 ●妊娠期から就学までの子育てに関する情報や悩み相談の相談先を、区広報紙「さざんか」5月号に掲載 ●子育て層に対する情報発信として体罰によらない子育てのポイントや子どもの権利に関する情報を区広報紙「さざんか」11月号に掲載。また、子育ての相談や児童虐待相談など、情報を適宜入手できるよう二次元コードもあわせて掲載 ●「年齢別子育て情報(乳幼児健康診査・予防接種)」を区ホームページに、二次元コードを区広報紙「さざんか」12月号に掲載 	<p>① 91.3% ② 42.0%</p> <p style="text-align: center;">達成</p>

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●子育て層に情報が行き届くよう、より効果的な情報の発信を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、子育て情報をホームページやSNSを通じて継続的に情報発信するとともに、すみのえ情報局を活用するなど効果的な情報発信を行う。

クローズアップ —取組の解説—

■「年齢別子育て情報」ホームページ

区民QoL(※)向上のために、妊婦の方や子育て中の保護者の方等が、子どもの健康診査や予防接種などの手続きについて、年齢別・項目別から調べることができる**年齢別子育て情報(乳幼児健康診査・予防接種)**を、令和4年7月29日から区ホームページで公開しています。

※QoL(Quality of Life)…生活の質



区役所HP
(年齢別子育て情報)



委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

●前回の部会で小児科等に子育てに関する案内チラシを設置することで、情報を必要とする方に届きやすい、と意見があったが現在の進捗状況を知りたい。

③

子育てに関する必要な情報がすぐわかる二次元バーコード等を掲載したチラシの設置準備を進めており、今後医師会等にも設置について協力依頼し、乳幼児健診の会場にも掲示してまいります。



【部会】

●広報さざんかに掲載されていた「子育てを切れ目なくサポートします」の記事について、子育て世帯の目に留まりやすい地元の小学校に協力いただき掲示したところ、保護者から「わかりやすい」「QRコードもあり、簡単に調べることができた」と好評な意見があった。このように、区政会議で議論したことを自分でも実践し情報発信を後押しすることができた。

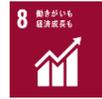
①

子育て情報を区ホームページやSNSを通じて継続的に発信するとともに、区広報紙や子育てマップへ二次元バーコードを掲載するなど、効果的な情報発信に引き続き取り組んでまいります。



※分類 ①既実施 ②4年度において対応予定 ③5年度運営方針に反映または5年度に対応予定
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

【主なSDGsゴール】



計画

めざす状態

【令和3～7年度の5年間】

社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態。

戦略(中期的な取組の方向性)

- 地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。
- また、知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

指標

令和7年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果における区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合 70%以上

自己評価

指標の達成状況

- 令和4年度区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合 63.4% (前年度 63.3%)

取組の有効性：有効

課題

- 学習を楽しむ体験をすることで学習意欲が向上するよう、学校や関係機関等と更に連携し、事業の浸透を図っていく必要がある。

改善策

- 施策目的を実現するにあたり、より効果的な方法となるよう検討する。

計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもサポートネット事業の対象となる児童・生徒を中心に、学校やスクールソーシャルワーカー、福祉関係者等と連携し、それぞれの理解度や特性に合わせた少人数体制での学習支援を行う。小学校施設、中学生向け拠点等で実施する。 ●放課後の学校施設を利用し、大阪市塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業を週2回程度行う。加賀屋塾(加賀屋中学校)、南港塾(南港南中学校)、真住塾(真住中学校)の計3か所で年間計270回程度実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象児童・生徒に対するアンケート調査において、「この事業に参加してよかった」という問いに対し、肯定的な回答の割合 70%以上

自己評価	取組実績等	達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校6校、中学校1校にて、学習支援を実施 ●加賀屋塾・南港塾・真住塾を開設し、学習環境の場を設定。年間275回 	<p>97%</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">達成</p>

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●基礎学力アップ事業について、現在「加賀屋塾」「南港塾」「真住塾」の3か所で実施しているが、もっと実施場所を増やしてほしいという意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度から、実施場所を拡充する。

クローズアップ —取組の解説—

■民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導

- 区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合わせた少人数制の学習支援を行っています。
- 区内中学生及び令和5年度から小学校5・6年生を対象とした「基礎学力アップ事業」は、事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を実施します。

基礎学力アップ事業の様子



計画	取組内容	指標
	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育の一環として、小中学生を対象に、チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」の育成をめざす起業家教育を題材としたワークショップ等を開催する。 ●学校生活や普段の生活においても、自分の夢や目標を描き、自分の考えを持つとともに相手の意見を聞きながら、未来に向かって挑戦する力を育む。 【個人参加プログラム】区内中学生・小学校高学年計300名を対象に、オンライン講座を中心に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ等に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、起業への関心やワークショップの理解度について肯定的な回答の割合70%以上

自己評価	取組実績等	達成状況
	キャリア教育の一環として、プログラムを実施 <ul style="list-style-type: none"> ●夏開催：7～9月5回連続講座を実施 延べ19名参加 ●秋開催：10～11月単発講座を7回実施 延べ44名参加 	86% <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">達成</div>

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●チャレンジ精神を育む講座への参加者数の増加に向け、小中学生にとって魅力あるプログラムにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●施策目的を実現するにあたり、より効果的な方法となるよう検討する。

クローズアップ –取組の解説–

■キャリア教育

- 「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。
- 住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。

キャリア教育事業の様子

